

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

コード	名 称		コード	名 称		
事業名	1109	地域ぐるみの同和教育総合事業	会計	01	一般会計	
基本施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	款	10	教育費	
			項	05	社会教育費	
			目	08	教育集会所費	
担当部課名	教育委員会 八幡町教育集会所		細目	102	教育集会所事業経費	
作成者氏名	安永 幸二	連絡先	23-3157	細々目	02	地域ぐるみの同和教育総合事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	崇広中学校校区の学校、保育所(園)、家庭、地域	部落差別をはじめあらゆる差別をなくしていくための、豊かな人権感覚を身に付けた子どもを育てるとともに、教育関係者・保護者など子どもに関わる者の、人権を尊重する意識を高めていく。					
本年度事業内容	「崇広中学校校区地域ぐるみの人権・同和教育推進委員会への委託事業」 ① 各学校での人権・同和教育に関する課題とその取り組みについて、定期的に情報交換を実施するとともに、人権同和教育実践のための研究協議を行った。 ② 教職員及び保護者を対象に研修会を行った。						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市集会所条例

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.4	0.4	0.4
人件費合計(A)	2,880	2,880	2,880
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	500	450	450
委託料	500	450	450
その他			
合計(A+B)	3,380	3,330	3,330
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,380	3,330	3,330
上記①～③に関する特記事項 (委託事業)			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
ブロック交流会の開催	回	5	5	5			
研修会の開催	回	2	2	2			
高野山夏期セミナー参加	名	6	5	5			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
研修会の延参加者数	各年度参加者数維持を目標に取り組みを行う	名	300 目標 ()	300	300
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

地域の子ども達が差別に負けずに乗り越えていく力を醸成するとともに、更に校区教育関係者の連携拡大を図っていく。
--

評価	必要性	4	成果等を数字に表すことが難しいが、地域を抱える関係機関・者が定期的に交流会を持ち、互いの取り組み等を理解しあい連携を深めることにより、子ども達への教育実践に、より一層の効果が得られるはずである。	総合評価 B
	有効性	3		
	達成度	2		
	効率性	3		